



若手医師とベテラン医師の意識の差 に関するアンケート



調査概要

プラメドの医師会員に聞きました！とは…

「プラメド会員の先生が他のプラメド会員の先生に聞いてみたい」テーマで実施するアンケートです

- ◆調査名 : 若手医師とベテラン医師の意識の差に関するアンケート
- ◆調査期間 : 2017年4月14日（金）～21日（金）
- ◆調査手法 : インターネットアンケート
- ◆対象者 : プラメド会員の先生
- ◆回答者数 : 993名

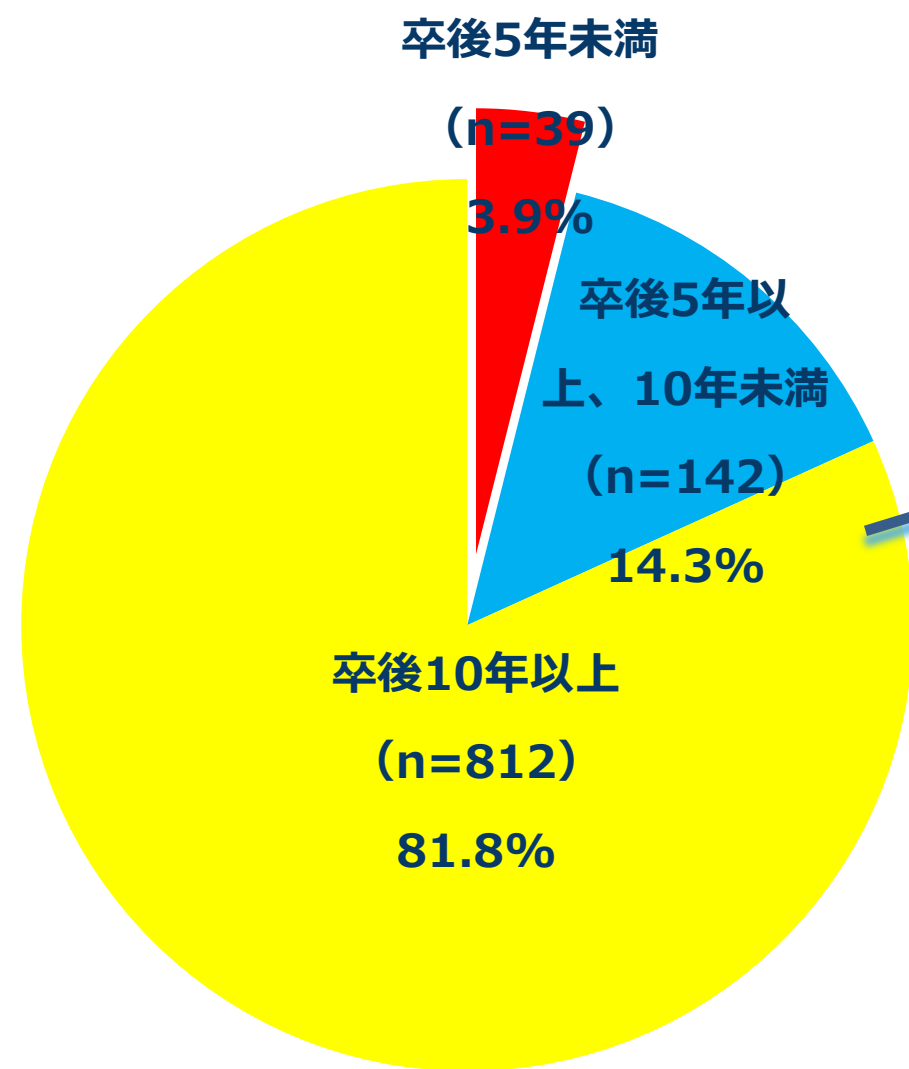
- ◆調査概要 :
 - ・若手医師の指導に対する携わり方
 - ・若手医師の指導に関して留意していること（留意していたこと）
 - ・先輩／後輩医師と接する中で、意識や価値観などに違いを感じることに

※調査結果内のN表記について：N=総回答者数、n=一部の回答者数を表しています。

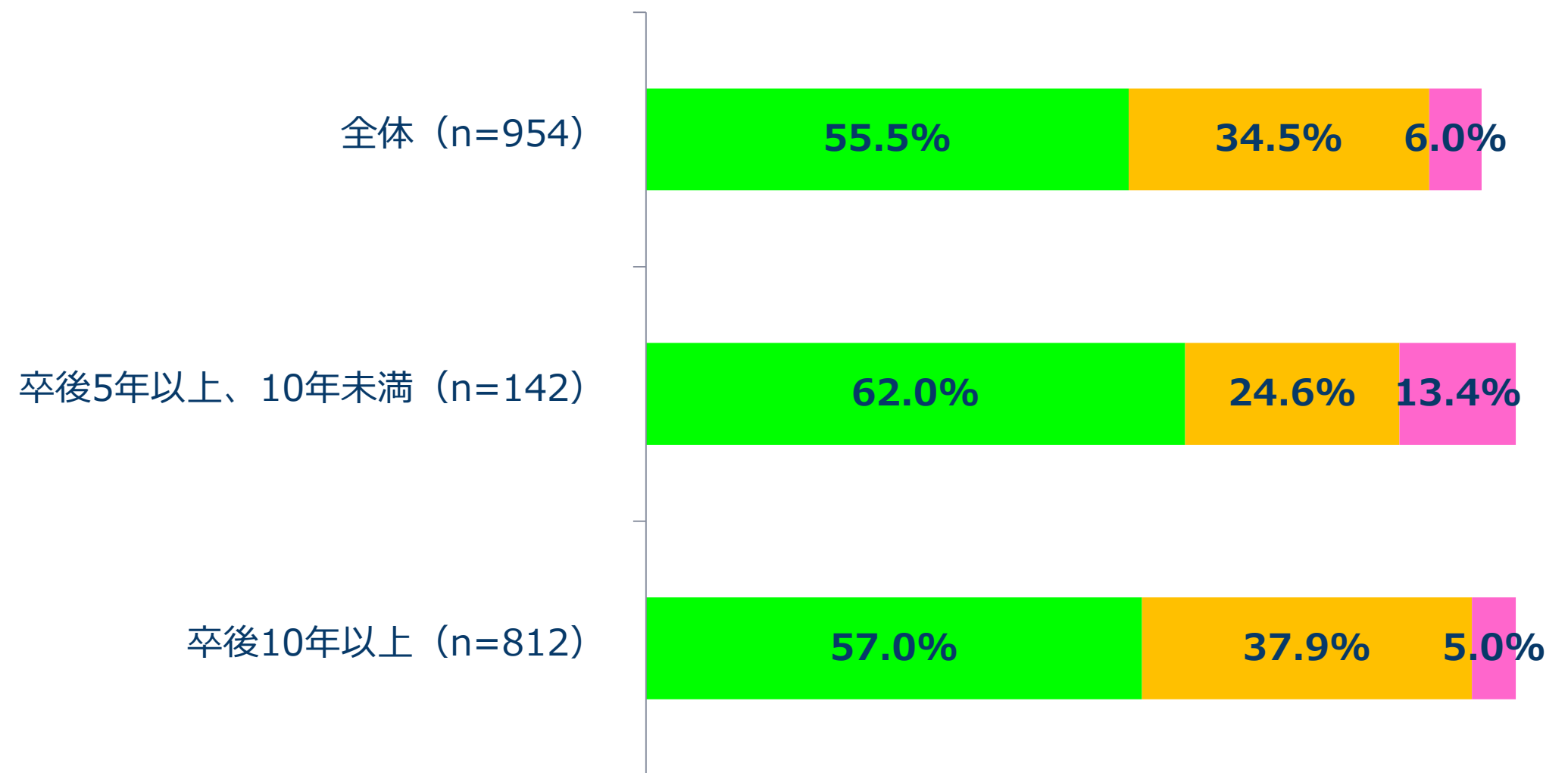
若手医師の指導に対する携わり方

回答者の卒後年数内訳

N=993



- 現在、若手医師の指導に携わっている
- 現在は携わっていないが、以前は若手医師の指導に携わっていた
- これまでに若手の指導に携わったことがない

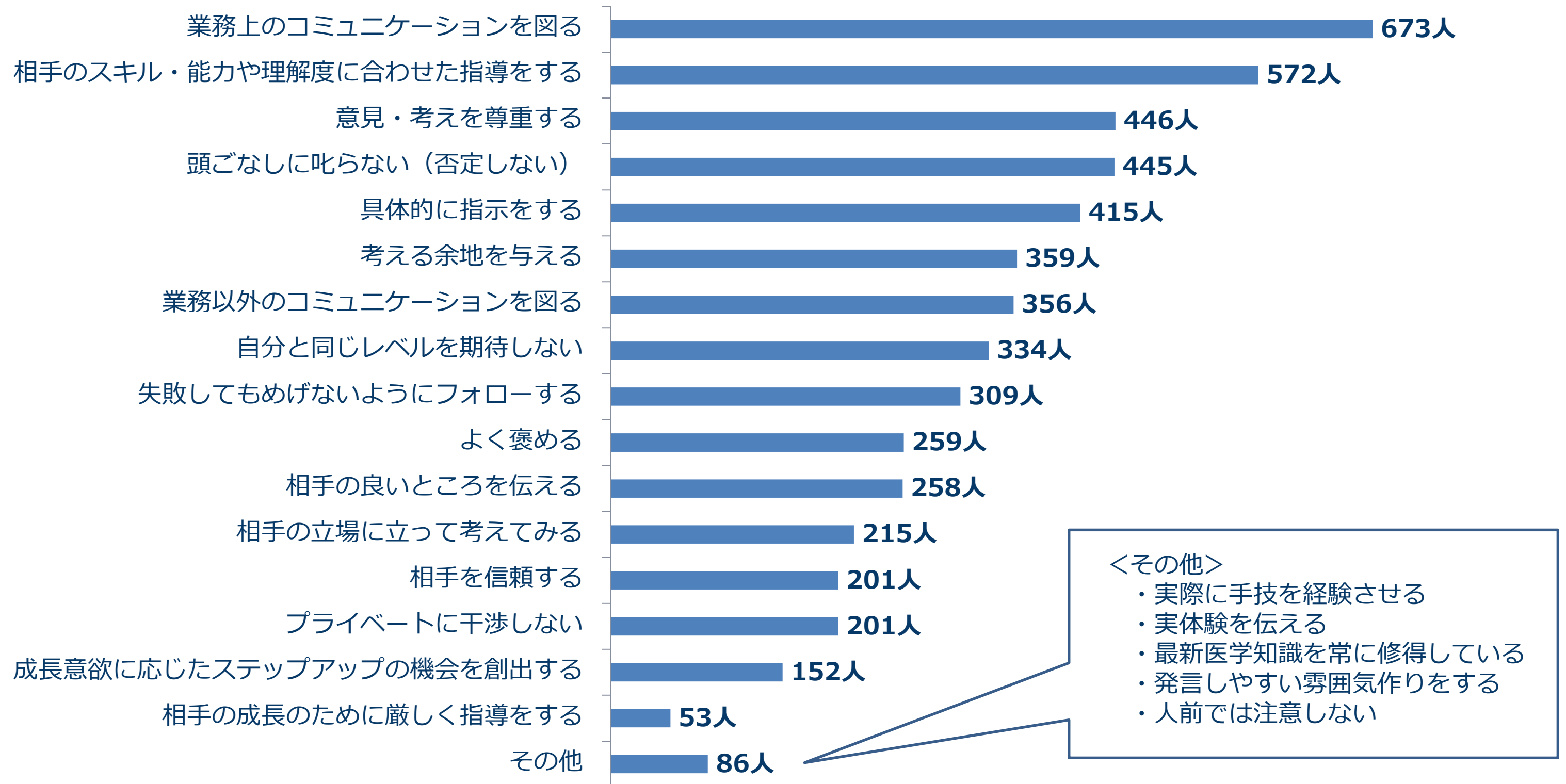


◎現在、若手医師の指導に携わっている先生は約6割で、以前携わっていた先生も含めると全体の約9割の先生が若手医師の指導に携わった経験があることがわかった。

若手医師の指導に関して留意していること（留意していたこと）

（複数回答）

n=894



◎「業務上のコミュニケーションを図る」がもっとも多く、次いで「相手のスキル・能力や理解度に合わせた指導をする」が挙げられた。

先輩医師と接する中で、意識や価値観などに違いを感じることに (自由回答抜粋)

- ◆ 卒後10年未満の医師181名中、59名の先生から意識や価値観の違いに関するコメントがありました。
- 診察や患者さんへの対応が丁寧で漏れがない (20代)
- リスクマネジメントへの意識が高い (30代)
- 大学病院に勤めているが、研究、発表などに積極的だと感じる (30代)
- 経験数が違うので着眼点が違ったり、思いもよらないところを見ていたりする (20代)
- 我慢強い先輩が多い (20代)
- 新しい治療法に対しての積極性に差があると感じる (20代)
- 生活における仕事の割り合いに違いを感じる (20代)
- 全身管理に関する意識の違いを感じる (30代)
- 当直に関しての考え方が大きく違う気がする (30代)
- 意識や価値観は皆違うと感じる。診療に対する姿勢、何に重きを置いているかも皆違うが、それでよいと考える (30代)

先輩医師と接する中で、意識や価値観などに違いを感じることに

(自由回答抜粋)

◆卒後10年未満の医師181名中、59名の先生から意識や価値観の違いに関するコメントがありました。

- 新しいことに目を向けず流れ作業的にやっている人がいる (30代)
- 患者さんを症例としてしか見ていないように感じることもある (30代)
- 慣習でしてる人が多く、情報を新しくしていないと感じる (30代)
- 自分や家族との時間を犠牲にしてまで、休まず業務に打ち込むことを良しとする風潮がある (30代)
- 従来のやり方があきらかに非効率的であるとわかっているにもかかわらず、なかなか変えられないでいる (30代)
- 医師の立場が重いと考える人が多い (30代)
- 残業してもその日のうちに仕事は片付ける (40代)
- 体育会系の意識が強く、若手のうちはひたすら我慢するべきと考えている先生が多い (30代)
- 薄給でも患者さんのために！はわからなくもないが、モチベーションは下がる (20代)
- 経験や以前のやり方を重視していて、新しい方法・考え方に関して慎重である (30代)
- もっとオンオフをしっかりと取れるような環境作りが大事だと思う (30代)

後輩医師と接する中で、意識や価値観などに違いを感じることに

(自由回答抜粋)

◆ 卒後5年以上の医師954名中、365名の先生から意識や価値観の違いに関するコメントがありました。

- 知識が多く効率化がうまい (30代)
- タブレットを持ち歩いている、すぐに調べる環境にしている (30代)
- 必要な業務を淡々とこなすことの出来る人が多く効率が良い (30代)
- 医学的見解や医療情勢は、同時期の自身と比較すれば後輩医師の方が知識が豊富である (40代)
- 患者さんや家族の意思を尊重し、自分の考えを押し通さない医師が多い (50代)
- 医師を特別な職業としてではなく、数ある職業のうちの一つとして選んできていて大きな期待もなく、現実的である (50代)
- LINEなどで他院の医師とも繋がっているなどSNS利用の頻度が高い (50代)
- 熱心だが失敗を恐れる傾向が強いように感じる (50代)
- よく勉強しているが、プロとしての意識に欠ける面が多々見られる (40代)
- 仕事のやりがいよりもQOL重視する傾向が感じられる (30代)
- やる気がある医師が多いが、あまりにあらゆる可能性を考えすぎており、検査が多すぎる (50代)
- 医療の進歩に伴い、医師の使命感や命の価値感が変化してきている (60代)
- 良くも悪くも、相手によって態度を変えない (30代)

後輩医師と接する中で、意識や価値観などに違いを感じることに

(自由回答抜粋)

◆ 卒後5年以上の医師954名中、365名の先生から意識や価値観の違いに関するコメントがありました。

- 労働環境（拘束時間、当番などの拘束日数）を強く気にする（30代）
- 現実志向、理想を追求することが少ない（50代）
- 雑務の捉え方。必要な仕事以外はしない（30代）
- 専門外の領域に対する関心がきわめて低い。進んで技能の向上を図ろうとする意欲に欠ける（40代）
- 臨床に対する意欲は高いが、医学研究に対するリサーチマインドが少し薄れてきている（50代）
- プライベートでのコミュニケーションを好まない人が以前より多くなっている（50代）
- マニュアルを大事にしているのでマニュアルがないと困ってしまう人が多い（50代）
- 知識はすごくあるのに、コミュニケーション能力が乏しいことが多い（40代）
- 臨床経験から得られる知識を重視しないで、セミナーや研究会などの情報を集めることを重視する（40代）
- 夜間や休日の受け持ち患者への対応を、当日の当番医に任せるようになってきた（50代）
- 間違いを指摘され慣れていないため、逆切れされないよう指摘することが困難である（30代）
- 患者さんに対する責任感は確実に薄くなっている。自分が最後の砦のような意識はなく、誰かがやってくれるだろうと仕事を途中で放り出す人は確実に増えている（50代）
- 必要ないと思っている情報は取りに来ない、取材しない。書いてある事で十分高いパフォーマンスレベルが得られ、良い経験になっていると思いついでいる（40代）
- 忙しくプライベートの時間の確保が難しい外科系診療科は好まない（50代）

プラメドの医師会員に聞きました！はくプラメド会員の先生が他のプラメド会員の先生に聞いてみたいテーマで実施するアンケート>です。アンケート結果は、毎回私たちが普段知りえない先生方の勤務状況やお考えについて新たに知る機会となっています。

今回のアンケートでは、「若手医師とベテラン医師の意識の差」についてお伺いしました。若手医師の指導に関して「業務上のコミュニケーション」に留意していると回答された先生が多く、指導におけるコミュニケーションの重要性が伺えました。先輩／後輩医師との意識や価値観の違いについては、双方に色々なご意見がありましたが、オンオフに対するワークバランスの感覚の違いが多く挙げられ、世代により働き方も変化している様子が伺えました。また、意識の差は世代差よりも個人差によるといったご意見もありました。

本アンケートの結果を会員の皆様にお楽しみいただければ幸いです。

今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。プラメド社員一同

社名にこめられた想い

Platform for Medicine = PLAMED

社名の「PLAMED(プラメド)」は、「Platform for Medicine」の略です。

プラメドは、その社名に込められた通り、医学の目的のために活動をしているインテグラーブ企業です。

この社名に則り、医療現場の“現状”“問題”“解決策”を正確に把握し、医療現場や社会に迅速に伝えるための仕組みを提供していきます。そして、「医療現場からの出発」を掛け声に、より良い医療環境づくりのためのお手伝いをしていきます。

PLAMED
PLATFORM FOR MEDICINE

PLAMED

PLATFORM FOR MEDICINE